

会 議 録

会議の名称	第5回 杵築市行政改革推進委員会
開催日時	平成27年12月15日（火曜日） 午後1時30分から午後3時40分
開催場所	杵築市役所本庁舎 2階 大会議室
議 題	別紙資料のとおり
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 ■発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p>議事</p> <p>(1) 補助金等評価報告書について</p> <p>(2) 行政改革アクションプラン報告書について</p> <p>(3) 杵築市の財政状況について</p> <p>(4) 平成28年度の事業評価について</p>	
審 議 内 容	
<p>(総務課係長あいさつ)</p> <p>(委員長あいさつ)</p> <p>(平成27年度補助金等評価報告書(案)修正意見について事務局の見解を説明)</p> <p>(反対意見なし)</p> <p>(平成27年度補助金等評価報告書(別冊)補助金等の評価コメント一覧表(案)修正意見について説明)</p> <p>(No.8防災システム整備事業)</p> <p>○委員長：単価契約をしているなら下げるわけにはいけないので</p>	

は。契約期間によるが。

○委員：単価契約を引き下げるのは相当難しいのか。2年目なら業者の熟練度も上がっているはずだ。

○委員長：必ずしも同じ業者とは限らないのではないか。

○総務課係長：ケーブル組合との契約なのでその加盟業者が実際の施工をする。

○委員長：単価を10%引き下げるといのは難しいのではないか。書くとすれば、単価の削減に努めながら普及拡大に努める。くらいではないか。財政課長はどうか。

○財政課長：防災ラジオ事業をスタートするためには必要な補助金だったと思う。ケーブルテレビ網を使っているが、ケーブルテレビに入っていない方もいる。初年度は多いが、次年度からの件数はぐっと少なくなっている。もちろん安ければ安い方がいいが。ケーブルの単価も決まっており、それに合わせていることもあり、10%ではなくてもいいと考えている。

○副委員長：10%でなくともいいというのはどういう意味か。

○財政課長：単価は現状のままであまり問題はないのではないかと
思う。単価自体も県内ほとんどの市町村にケーブルテレビがあるが
毎年単価見直しを行っている。むしろ、補助金の率を変えていくこ
とが必要だと思っている。事業の開始年度は100%補助していた
が、それで入らず、遅れて入る人は補助率を引き下げてもいいかと
考えている。

○委員長：しかし防災の面から言うと数を増やすことが大事なので
補助金は妥当と考える。とりあえず拡大することが先だ。補助金総
額を下げるには単価を下げるか補助率を下げるかだが、まず拡大を
することが先決だ。

○委員：市民の立場から言えば、数を増やすべきだと思う。そして
単価というものは基本的にはだんだん下がっていくものだと思う。

契約を毎年しているなら。

○財政課長：防災ラジオとケーブルテレビは連動しているので、総合的に判断させて欲しい。

○委員長：当分このままで、ある程度普及したら助成率を下げるなどの対応にはどうか。

（原案どおり）

（No.31 杵築市観光協会補助金）

○委員長：観光協会ができて軌道に乗り始めているところだ。だから、いきなり削減ではなく事業効果を検証してから削減する等考えたらどうかということだったが。

○委員：これは今すぐカットするという意味ではなく他項目では具体的な数字を入れているところもあるので大きなものだけでも具体的な数字を入れてはどうかと思った。予算の削減に努めることと書くだけではなく、目標値をきっちり与えた方がいいと思う。そして次年度の補助金に反映させてはどうか。自覚を促した方がいいと思う。

○委員長：担当課がもっていた補助金を観光協会にまとめたという経緯もあるので、いきなり5%カットするのもどうかと思う。ずっと同じ事業を続けてきたわけではないので。財政課の方でシーリングをかけていることもある。

○委員：それなら予算の削減に努めること、と書く意味がない。

○委員長：予算執行をする時に経費の削減に努めなさいということは言っておかなければならない。

○委員：それは全般的に言っている。

○委員長：特にだ。わざわざコメントしたということは特に経費削減に努めるよう強調している。

○委員：私は特に金額が大きいから具体的に数字を出した方がいいと思った。普通何も目標がなかったら動かない。ここは具体的に目

標値を与えるべきだ。

○委員長：どうするか。10%と入れるか。

○委員：10%という数字には拘っていないが、目標値があった方がよいと思う。

○委員長：数字を出すか。

○副委員長：経費削減を促すとともに、事業効果を検証し、予算の削減に努めること。でいいのではないか。

○委員長：数字を入れるとなると、他のものも全部入れなければならなくなる。今回は、経費削減を促すとともに、事業効果を検証し、予算の削減に努めること。にしておいて、来年結果が芳しくなければ次の補助金評価の時には数値を入れるという方向で発展させた方がいいのではないか。

○副委員長：一律10%のシーリングをかけているのか。

○財政課長：経常経費はそういう方向だがなかなか難しい。10%以上のカットをしているところもあるが、5%しかカットできないところもあるし、前年並みのところもある。査定はまだ半分しか終わっていないが、最終的にまた調整が必要だ。今年初めて地方創生の特別枠を設けた。やる気のある課は競ってその枠を獲る。

○委員長：財源は。

○財政課長：10%の分だ。8億程度削減する予定だが、その一部を地方創生枠に持って行きたい。

○委員長：財政もこういう姿勢でやっているのだから数字は他の所と同じように、まあ思い切って具体的に書いているものもあり、大きな所に目を付けてくれたのはありがたいが、我々としては経費削減を促すとともに、事業効果を検証し、予算の削減に努めること。にしてまた来年結果を見よう。次からは数字で結果や効果が見られるようにしてほしい。ご不満だろうがいかがか。

○委員：不満だが皆が言うならしょうがない。

(原案どおり)

(No. 32 杵築市商工会補助金)

○委員長：これも一緒だ。ご意見どうぞ。

○委員：やはりぬるいと思う。

○委員長：実現可能かどうかだ。不可能なことを言ってもしょうがない。中身が人件費であれば10%切るというのはなかなか難しい。地域総合振興事業費の中身が切れるようなものであれば書いてもいいかもしれないが。買い物券事業、観光振興、、お祭りの関係、金融対策会議費、経営専門家の人件費、労務対策、これが2分の1補助なので、10%カットすると事業費で5%程度カットすることになる。今は事業効果を検証しつつ予算の削減に努めることだが、率を示さないと削減しないだろうということなら、事業効果を検証しつつ10%程度の予算の削減に努めることでいかがか。

(反対意見なし)

(No. 80 病院会計補助金)

○委員長：これは交付税措置されているものだろう。

○財政課長：はい。病院の補助金については繰出基準というのがあり、開設者である杵築市が出さざるを得ないものだ。確かに病院も行革努力をするように言っているが、補助金に関しては市が国からもらっている補助金をそのまま病院にあげている。

○委員長：交付税相当額を計上しているようなのでここをカットするというよりは、そもそも大元の病院自体やその診療科が必要かどうか、そっちの議論になる。国が一般財源としてくれた分をそのまま病院に出している。だから、支出は妥当であるが更なる経営努力に努めることと、民営化についての検討を行うこと。また、建物の老朽化に伴い、今後の方向性を検討すること。これだけ書いてあれば、気持ちは分かるが、大体我々が言いたいことは伝わるのではないか。杵築市の一般財源だからどう使ってもいいけれど、交付税で

入った分はそのまま出している。逆に交付税で入った分を出さなかった場合はなぜかということになる。

○財政課長：それは病院側から言われるだろう。

○委員長：一般財源だからどう使っても構わないが、交付税として国がくれる分の算定根拠に入っているから、それを出さなかった場合はなぜかということになる。

○財政課長：例えば、消防の場合は、名称は違うが負担金という名称で出している。杵築速見消防組合ということで日出町と杵築市で一部事務組合をつくっている。交付税が来るのが本部のある所在地なので杵築市で受け入れている。そしてそのまま消防組合の方にお支払いする。環境浄化組合と言うのが、これも日出町と杵築市でつくっているがこれは所在地が日出町なので、日出町の方に交付税が来る。それをそのまま環境浄化組合に払う。それと同じだ。経費の節減については病院の方にも一生懸命経費節減をしてほしいが、この補助金については、、

○委員長：永松市長になって、病院の方にもテコ入れをしているようだから、我々の意見はこの程度にしてこれからの経過を見守るのがよいのではないか。

○副委員長：それなら4ページの⑦の下から2行目を民営化・規模の縮小等を～という風に変更してはどうか。

○財政課長：⑦の補助額が市の財政に与える影響も大きいというところは確かにそうだが、病院を経営しているからもらえるお金を病院にあげているだけなので、個人的にはここは削除した方がいいと思う。11月16日に議員全員協議会を開催し、第三者委員会を作って病院のあり方を考える。ということになった。建てる場合も考えられるし、民営化するのか、それともやめてしまうか、今の山香病院の隣接地に建て直すか、それとも杵築地域に移ってくるのか、等色々なパターンが考えられる。それで、病院の中ではなく市長部

局に病院のことを検討する室を作る。色々な選択肢を考え、建てる場合にどんな補助金が受けられるか等の情報収集をして、選択肢をある程度詰める。そして第三者委員会にかけるということになった。来年の定期異動で室をつくる。そして全国の公立病院の関係や、県内の医療圏の問題等を調べる。28年度までに病院も改革のプランをつくらなければならない。厚労省の思惑は、杵築と国東に隣接してあるのを一本にしてはどうかというもののようだ。旧杵築の人の場合は山香の病院に行かない。日出、別府に行ってしまう。別府市の病院に対して非常に多額の医療費を払っている。試算すると、1%でも杵築に留まるとものすごい額になる。そういうことや、今杵築市で開業している病院に後継者がいるのかいないのか等も含めて情報収集をなささいということで4月から改めてそういうことになる。今の流れとしては29年からは設計に入りたいという思惑もあるようだ。病院の事務サイドは建てる方針だ。しかし、財政サイドとしてはやめるのかやめないのか、民営化で売れないのか、独立行政法人にできないか、色々なパターンを考えたい。なので、高額というところは削除していただき、あとはそのままよいと思う。

○副委員長：削除するのは構わないが、病院に関わる民間、あるいは全体の流れとしては社会保障費がこれだけ増大して、老人も増えているが、ゆくゆくは減っていくだろうと言われている。そうすると、個人病院や公立、国立含めて全体のベッド数を1割削減や15%削減するという目途がある。そうするとそれに向けて民間の病院や持ち分の定めのある医療法人は持ち分の定めのない医療法人、もしくは解散する時は国に帰属する病院にあげなさいと。そういう所を中心にベッド数の削減はそこまでしなくてもいい。あるいは大きな病院が持ち株会社のようにして病院や社会福祉法人をぶら下げてもいいという構想ができつつある。そういう流れの中でこの公立

病院は本当に必要なのか。ベッド数を減らす時に今まであまり貢献していない病院については減らすということがどんと出てくるはずだ。そういうことを考えると民営化にするのか、あるいは縮小するのか、やめるのかという議論をちゃんとしておかないといけないし、建て替えればいいという話ではない。

○委員長：病院会計は赤字になっているのか。

○財政課長：ここ2年半赤字だ。ただ、留保資金がかなりあって、11億くらいあった。今内部留保は6億くらいまで減っている。

○副委員長：今度は6億か7億特別な損失が出ている。それは病院の会計準則が変わって公営企業会計と同じようにしなさいということがあった。しかしそれを考慮してもここ2年程の経営状態はあまりよろしくない。やっと今年になって少し戻っているという状態だ。決して喜べる状態ではない。

○委員長：財政課長は補助額が高額で市の財政に与える影響が大きいというところは交付税措置されたものをそのまま持ってきているので財政的にはあまり関係ないということが言いたいということではないか。額が大きかろうが小さかろうが交付税措置されたものだからあまり関係ないと言いたいのか。

○委員：国からもらったお金が例えば100だったら病院に100払わなくてもよいのか。90でもよいのか。

○財政課長：そうした時代もあったようだ。

○委員：翌年から90しか払ってないから交付税も90になるなどということになるのか。

○財政課長：それはない。罰則のようなものはないが病院としていたただいたものであり、開設者の市が倒れれば当然病院も倒れるので、よほど市の一般会計の状態が悪くならなければ満額だす。

○副委員長：病院の財政が影響を与えないと言っても、県病の時も色々な対策をした。その結果でああいう状態になった。だから決し

て病院が市の財政に影響を与えないわけではない。だから決して今
国から全額交付税措置されるからよいというものではない。なので
ここの文章は、将来の市の財政に与える影響が大きいに変えてはど
うか。

○委員長：将来のを付け加えよう。この交付税は一般財源として措
置されるものだから確かに何に使ってもよいが、逆に、算定根拠と
した交付税を他の事に使うとなぜかという説明が難しい。

○委員：私はむしろ病院の姿勢がわからない。現在赤字ということ
なら経営努力をしなければならぬ。交付税の事とは別に病院が自
立的に運営できるようにしなければならぬ。黒字になるように、
身の丈に合うようにしなければならぬ。

○委員長：いずれにしても抜本的な対策を講じないとこの問題は解
決しない。それが今、動き始めているということのようだ。

○財政課長：来年財政が直接管理している会計以外の公営企業につ
いても担当課を呼んでいただき、説明を受けていただきたいと思
う。

○委員長：来年そのことを事務局にも検討してもらい、額の大きい
補助金についてはレクをしてもらおう。文章については、赤字が続
けば当然将来の市の財政に与える影響も大きくなるのでこのよう
に変えたことでよいと思う。それでは、皆さんからいただいた意見を
踏まえて修正を行いたい、今の箇所の修正を以って完成というこ
とでよいか。

（反対意見なし）

○委員長：それでは、事務局に修正作業をお願いし、それを私が確
認し、市長に提出ということによいか。

（反対意見なし）

（平成27年度行政改革アクションプラン（後期プラン）報告書
（案）について説明）

○委員長：ご意見はいかがか。誤字脱字等の微修正については私の責任で確認することによろしいか。

○総務課係長：補助金もアクションプランも修正箇所を直したものを委員長に代表して確認していただくということによいか。そして完成した報告書は事務局の方から市長に渡すということによいか。

○副委員長：それはよいが、危機意識を持つために将来の中期財政収支のことをどこかに入れられないか。

○委員長：健全な財政運営については、問題のある指標はないようである。しかし、この項目については、別に時間を設けて検討することとする。としているところに入れてはどうか。

○副委員長：29年度から赤字を予定しているのだろう。

○委員長：もしくは別に項目を作るか。

○副委員長：中期財政収支に書かれていることを簡略化して載せられないか。そうすると財政運営が厳しいことがわかる。

○総務課係長：それでは、検討して修正したい。

○委員長：中期財政計画は公表しているのか。

○財政課長：議会には公表しているがホームページ等には載せていない。

○副委員長：現状の状態で行くところなる。ということを書けばよい。

○委員長：それではここままで補助金とアクションプランが終わった。アクションプランの方は今から財政課長のレクを受けてまた修正をし、その作業が終われば完成だ。

○総務課係長：アクションプランについては前回までの意見を反映した修正プランをお配りしている。削除や統合を中心に修正した。また、委員の皆さまからご指摘いただいた具体的な計画や数値等の記載は今年度版には反映できていないが、来年度各課にヒアリングを行う前に具体的な計画と実績を記載するように指導したいと思

う。

(財政課長から市の財政状況について説明)

○委員長：今の説明を聞いて、アクションプランの5ページに健全な財政運営については問題のあるものはないようである。と書いているが、経常収支比率が90%を超えており、実質単年度収支も赤字になっている。なおかつ、中期財政収支試算の概要によると29年度から赤字が経常化する状況になっている。

○財政課長：そういう表現の方がよいと思う。毎年ローリングするので額が若干前後するが29年から赤字と言うのは間違いないと思う。

○副委員長：今の説明を簡略化してまとめて現状の予定ではこのようになる。だからこのような対応が必要になる。ということをもとめてはどうか。今日説明にあった大型事業だけで60億くらいある。それ以外にも色々あるでしょう。はっきり言ってここまでの予算を使う必要性はこの現状ではない。今の予算措置の実質半分ですらなければならぬ。約100億。50億くらいに下げるなどしてはどうか。29年度から36年度までの赤字が大体60億くらいだろう。そういうようにするしかないのではないか。議員には自分の住んでいるところの近くに立派な建物ができれば力を誇示できると考える人もいるようだが、そうではなく、本来、杵築市の財政の事や今後の事を考えれば、しなければならぬことは自ずと決まってくるのではないか。

○委員：改善プランはないのか。改善するためにはこうしなければならぬというプランが必要だ。

○委員長：そういったことを書こう。5ページの健全な財政運営については、財政指標は問題のあるものはないようである。しかし、この項目については、別に時間を設け検討することとする。としていたところは、健全な財政運営については、実質単年度収支はマイ

ナスとなり、経常収支比率も90%超となっており、非常に厳しい状況となっている。に変更。そして、最後に全体として、とまとめているところも今後の財政見通しについて、中期財政収支試算によると29年度から赤字が見込まれていることを書く。

○副委員長：今後の財政運営についても書いた方がよい。

○委員長：それでは最後に今後の財政運営について、委員会としての意見を入れよう。中期財政収支試算の内容によると平成29年度以降大幅な赤字額が計上されている。その赤字額解消のためには、改善プランを早急に考える必要がある。見込まれている箱物投資について2分の1削減等を含めた改善プランを早急に立てる必要がある。というようなことでよいのではないか。あまり細かいことを言うより大きな観点でまとめたい。

○総務課係長：5ページの財政の合理化・効率化のところの文言を変える時に触れた方がよいことはあるか。

○委員長：現状分かっている財政運営については、実質単年度収支は額を入れてもよい。これは確定していることだから。

○総務課係長：実質単年度収支が合併後初のマイナスとなり、経常収支比率が90%を超え、財政上非常に厳しい状況になっている。また、中期財政計画を見ると、平成29年度から赤字に、、、

○委員長：中期財政計画については最後に今後の財政見込みで書く。上の部分に書くのはあくまでも実績。最後に今後の財政運営について、ということで委員会の意見を書く。箱物投資を2分の1に削減する等の財政収支改善プランを早急に検討する必要がある。というような全体的なことを書いておきたい。

○総務課係長：今皆さんが言った意見をまとめて、後ほど委員長に代表で確認していただきたい。

○委員長：確認は私だけでよいか。

(反対意見なし)

○委員長：来年度は初めに財政運営の状況等を聞いて、それから査定に入りたい。それでは、平成28年度の事業評価について。

○総務課係長：前回配った資料の中に入っている実施計画に杵築市の色々な事業が載っている。杵築市が策定した総合計画の柱や体系、分野ごとに色々な事業が載っている。補助金は7億程度だったが、こちらは54億くらいある。これは計画で、全部やるという意味ではないが計画上はこのようになっている。これを来年度皆さん方に評価していただけないかと考えている。

○委員長：個別のものについては中身が分からないから、、、

○総務課係長：項目も多いので全部は厳しいとは思う。大きい事業だけピックアップしてやるか、それとも別のやり方にしてもよい。

○委員長：やることは非常に良いと思うが実際にできるかどうか。ちょっと検討しておいてほしい。

(事業評価シートの説明)

○委員長：そこまでやるのならある程度材料はある。

○副委員長：そういうことであれば補助金は次回やらなくてもいいのではないか。

○総務課係長：はい。補助金の評価をする要領で次年度は事業評価をしていただきたい。

○委員長：そこまでやるのなら見ましょう。

○総務課係長：来年度は今年よりも早い段階でお集まりいただき、1回目の会議で今年の評価方法を説明し、そして決算や財政状況の説明をしてから方針を決めたい。

○委員長：大きいところに手をつけないと小さいところではどうしようもない。補助金は決算から見たら7%程だ。

○総務課係長：来年度はそういった形で検討したい。

○副委員長：この計画に載っているもの以外にはないのか。もっとやらなければならない事業は。

○財政課長：これに載っていないのは多分、ケーブルテレビの更新だけだと思う。中期財政計画も、総合計画に載せている事業で算定している。他にもこういう施設が欲しい等の市民からの要望がある。

○副委員長：要望はあくまで要望だ。全てに答えていたら何もできない。今の財政状況を説明すればよい。

○財政課長：説明しているのだがなかなかご理解いただけない。

○副委員長：自分が本当に借金まみれということが分からないと。使って使って使って、後にふり返ってみると立ち行かなくなっているということでは遅い。

○委員長：これらの資料の簡易版を作って出前講座等をして、厳しい現状と今後のことをもっと市民に広報しないといけない。でないと、自分のこととして考えない。何度も説明しなければ。議員は地域代表で地域のことに主に目を向けているから。データを見せないと分からない。いざ財政再建団体になると行政サービスは落ちて税金は上がる。その時になって後悔しても遅い。

○財政課長：議員は税収が落ちても交付税が上がるという昔のイメージがある。財政規模は一緒じゃないかと思っている。しかし、今は違う。

○副委員長：地方交付税も厳しい。

○財政課長：今までにない交付税の算定をしている。ラスパイレスや行革努力が反映されている。民間委託や指定管理の導入等で加算される。今までのような単純な計算式だけではない。それプラス、ラスパイレスや、行革努力、先進優良事例等を加味していくということになると、市町村間の競争になる。

○委員長：大学等も同じだ。頑張ったところに頑張った分あげる。頑張らないともらえない。それでは、来年は今回の評価の結果は報告してもらおうにしても、審議は50億の方を見る方向で準備をお願い

いしたい。我々が評価できる材料ができたらやろう。そして初めはやはり財政状況の説明をしてもらおう。皆さんそれでよいか。

(反対意見なし)

○委員長：それでは、機能的な市政運営ができるように我々も支援していきたい。

(財政課長あいさつ)